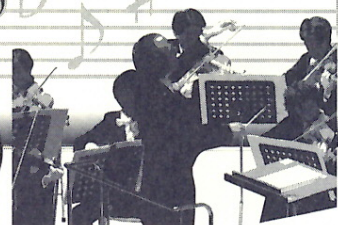


札幌くらぶ

Sakkyo Club

54



【編集・発行/札幌くらぶ】 064-0931 札幌市中央区中島公園1-15 札幌交響楽団事務局気付
メール：info@sakkyoclub.net
ホームページ：http://members3.jcom.home.ne.jp/sakkyoclub/

2011.4

3月11日に発生した東日本大震災は、私達にとって経験の無い未曾有の大災害であり、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

宮城県には仙台フィルハーモニー管弦楽団という素晴らしいオーケストラがあります。しかし、演奏会場の損壊や楽団員自らも被災されているにも関わらず、被災地支援のための演奏活動を始めています。こんな時だからこそ精神的支援として音楽の力が必要になると思います。

札幌くらぶは、札幌交響楽団とともに、全国に呼びかけて仙台フィルハーモニー管弦楽団とそのファンクラブを支援していきたくないと行動を起こしています。

札幌くらぶ会長 上田文雄

第9回札幌くらぶコンサート検討経過報告(第3回)

札幌くらぶ会員皆さんへ ご協力していただくこと

第9回目になる札幌くらぶコンサートは、平成23年11月5日(土)に開催することが決定し、指揮は我々のマエストロ尾高さんをお願いしました。現在、札幌くらぶコンサート検討会議から答申を終え、実行委員会を正式に発足させ、具体的な開催内容や会員の皆さんとともにどのように進めていくか議論をしている最中です。会員の皆さんへの報告として、会報に開催シリーズを掲載し検討内容を報告しています。第一回は、札幌と遊ぼう・感動を子供達とともに題して、札幌くらぶコンサートの開催意義について、第二回は、札幌と遊ぼうのプログラムについて報告しました。第三回の今回は札幌くらぶ会員の皆さんにご協力していただくことについてご紹介します。

第9回札幌くらぶコンサート開催にあたって、3つの取組みを実現したいと考えています。

1. 札幌の中学生で吹奏楽や合唱等音楽に関わっている方を優先して200名程度を目標に招待し、ファーストコンサートに引き続き、子供達の音楽による創造性を豊かにしたいこと。
2. 外国人留学生で札幌に住んでいる方50名程度目標に招待し、札幌交響楽団とキタラの音楽文化を海外に広めて欲しいこと。
3. 毎日を忙しく働いている企業や団体の方々にも札幌交響楽団とキタラの音楽文化を楽しんでもらいたいこと。そしてこの取り組みを実現するためにご協力して欲しいこと。

このことを実現することによって、札幌や北海道にとって宝ともいえる札幌交響楽団の活動がますます市民に支持され札幌のまちが芸術・文化であふれる都市になっていくことが期待できます。

子供達に1回きりではなくもう一度聴いてもらうことで、もっと心に深く刻んでもらおう、音楽の力でもっと心を豊かにしてもらおうと第2ファーストコンサートと併せて第2ファーストコンサートと再開することとしました。ただ聴いてもらうのではなく、この開催を札幌くらぶ会員と多くの市民と企業、団体の創意を集めて支えたいと考え検討しております。札幌くらぶ会員をはじめ札幌交響楽団、指揮者、楽団員一体となつてこそ実現できる取り組みといえます。また、東日本大震災被災地支援として、

第9回札幌くらぶコンサート2011も連動しながら開催します。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

札幌くらぶ会員の皆さんと
企業や団体関係の皆さんへ
お願いしたいこと

札幌くらぶ会員の皆さんに、
チケット3枚を周囲の方へ
紹介して欲しい、

第9回札幌くらぶコンサート
2011のチケット販売を通じて札幌
ファンを輪をもっと広げて欲しい
と願っています。

さらには、札幌くらぶ会員の拡大
や、札幌定期会員拡大、札幌を支える
個人パトロン会員拡大へ結
んで欲しいと願っています。

企業・団体関係の皆さんには
協賛支援して欲しい

企業・団体等経営者の皆さんには、
札幌くらぶコンサート開催を支える
力として、財政支援のためぜひ協賛
していただきたいと思えます。
さらには、札幌を支える法人パト
ロン会員を申し込んで欲しい
と願っています。

札幌くらぶコンサート実行委員会

副委員長 西川 吉武
(札幌くらぶ副会長)

平成23年度札幌くらぶ総会が開催される

平成23年4月23日(土)午後1時00分～1時50分
札幌コンサートホール2階大会議室

小雨の煙る肌寒い中ですが、48名の会員が出席して平成23年度札幌くらぶ総会が開催されました。総会は、定刻の午後1時に事務局の進行で開会され、上田札幌くらぶ会長の開会の挨拶、西村札幌専務理事の来賓挨拶のあと、議長に村上均を選出して議案の審議に入りました。

議案の審議は、議案第1号及び第2号、議案第3号及び第4号、議案第5号をそれぞれ一括して進行、報告、説明の後に質疑応答、採決することとし、事務局から議案第1号から順次報告、提案、説明が行われました。総会閉会后、直ちに札幌くらぶコンサート説明会が開催され、西川副会長から第9回札幌くらぶコンサート「札幌と遊ぼう」の検討経過、開催に当たり会員にお願いしたいことを説明しました。議事の概要は次のとおりです。

上田会長の開会挨拶

札幌を応援することを目的に設立された札幌くらぶの活動は、楽譜支援、JOF C(日本プロオーケストラファンクラブ協議会)による他のオーケストラのファンクラブとの交流活動など多岐にわたっています。

また、東日本大震災により被災した仙台フィルハーモニーに対しては、札幌とともに支援をおこなうこととし、募金活動を行っております。

総会は、昨年度の活動内容、決算状況と今年度の活動内容、予算について審議していただく場です。札幌の演奏については、成長著しいとの声を多くの方々から聴いております。札幌は今年50周年を迎えました。今後とも札幌くらぶ

は札幌を支えていく活動を進めて行きたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

西村札幌専務理事の来賓挨拶

遅れて申し訳ございません。皆さんに報告として道新観光が実施する札幌50周年のヨーロッパ演奏ツアーのA、B、C、Dの4コース全てが成立いたしました。札幌くらぶ会員の方々も参加している聞いており、お礼を含めて挨拶とさせていただきます。

議長選出

事務局から候補者を推薦する方法で議長を選出することで了承、事務局次長の村上均を推薦、承認されました。

村上議長挨拶

総会終了後、札幌くらぶコンサート説明会を予定しているので、

総会の終了時刻を午後1時40分を目処としたいので皆さんのご協力をお願いいたします。

議案審議

議案第1号 平成22年度活動報告及び議案第2号 平成22年度会計収支決算及び監査報告をそれぞれ議案に沿って事務局から報告された後、西川喜佐子会計監査から平成22年度札幌くらぶ普通会計及び特別会計収支決算監査の報告がされ、議長から議案第1号、第2号についての一括して質疑応答を行うこととしましたが、特に質疑がなく、満場の拍手により、議案第1号、第2号は承認されました。

続いて議案第3号 平成23年度活動計画(案)及び議案第4号 平成23年度会計予算(案)がそれぞれ議案に沿って提案、説明され、

これについて議長から一括して質疑応答を行うこととしました。会員 年度末の会員数が454名なのに予算では300名の年会費しか収入を見込んでいないのはなぜか。

事務局 会員数のうち約360名がマスター会員で、約90名がファミリー会員、会費はマスター会員が納入するので、約8割の会員が振り込まれることを見込んで予算を作成しています。

会員 22年度決算書では366名の納入となっているが、ほぼ全員納入したことになりませんか。

事務局 366名の中には20年度、21年度の過年度分が含まれており、22年度は310名程度、残りは過年度分となります。

会員 会員証の発行について、年会費未納入があるということですが、未納入の会員にも会員証を発行しているのですか。

事務局 会員名簿はアクセスというデータベースソフトを使用しており、会員証の発行の際には年会費を納入された会員を抽出しているため、未納入の会員には発行されません。

ほかに質疑はなく、満場の拍手により、議案第3号、第4号は承認されました。

コンサート運営に関する専用会計とし、楽譜支援金及び法人維持会費、札幌交響楽団支援に要する経費、コンサートに関する委員会を除いた委員会運営に要する経費に関する会計を普通会計で処理することにしたことに伴う所要の改正をすることを説明された。

議長から議案第5号についての質疑応答を行うこととしましたが、特に質疑がなく、満場の拍手により、議案第5号は承認されました。

会員 ひとつ提案させていただきたい。札幌50周年のヨーロッパ演奏ツアーには申し込んで頭金を払っているけど実は迷っている。というのほただ聴きに行くだけでは意味がないと思っている。ロン

札幌くらぶコンサート説明会も同時に開催される

総会終了後、西川副会長から、11月5日(土)に開催される第9回札幌くらぶコンサート「札幌と遊ぼう」について、次の3つの事項について説明がされました。

1. 札幌くらぶコンサートは何故開催するの？
2. 第9回の札幌くらぶコンサートは今までにないコンサートになりそう！
3. 札幌くらぶコンサートは会員一丸となって成功させたい！

また、会員に協力してほしいこ

ドン公演は、チャリティーとなっているが、ほかの都市でも札幌くらぶ会員が義援金募集活動のお手伝いができるようになれば、行く意味ができると思っている。どうでしょうか。

札幌西村専務 大変ありがたい話です。公演する国やホールにそういう習慣があるのか、また可能なのか確認しなければなりません。できることを前提に調査し、できる場合はお手伝いいただきたいと思えます。

全ての議事が終了、議長が退任し、鈴木副会長の閉会の挨拶があつて、総会は閉会となりました。(事務局長 武藤義典)

ととして、《札幌くらぶコンサート》は会員全員で作り上げ、是非成功させよう!! 目標・会員一人…3枚は確実に！(出来ましたら5枚をお願いします。)

を取り上げました。最後に、チケットの会員先行販売は5月10日開始、プレイガイド等の一般販売は7月10日開始、価格は、会員2、500円、一般3、000円と発表されました。

札幌物語 53

北電ファミリーコンサート [6]

竹津 宜男 (札幌くらぶ会員)



1977年4月に共演したイタリア、ミラノ・スカラ座の指揮者アルベルト・ヴェントゥーラはこの時が初来日、新日本フィルと札幌の指揮をした。

札幌では3月25日の滝川公演と4月1日の第52回「北電ファミリーコンサート」を指揮した。伝統を誇るオペラ座の指揮者なので日頃から大勢のスタッフを相手に仕事をしているらしく練習も大声で指示を出し豪放磊落な性格の人だった。腹が立つと我慢が出来ないらしくすぐ怒り出す、ことが解決するとたんににぎやかになる。イタリア人らしく表情も豊かで饒舌な人だった。強く印象に残る指揮者だった。

北電ファミリーコンサートの直前に行われた滝川公演のための練習には毎日私の自動車で真駒内青少年会館の練習場まで通った。

3月にしてはとも暖かい日々が続いたので「滝川まで80キロくらい？ 鉄道よりこの自動車で行けないか」と滝川へも自動車で行く事になった。行きはこの上ない快適なドライ

ブ日和だった。会場の中に居た我々には分からなかったが演奏会の途中で天候は急変し、大雪になっていた。帰路、滝川から札幌への国道12号線は完全に圧雪状態。ある場所で行き交う2台のトレーラーがそれぞれ連結部分から横に

曲がつて左右から道をふさいでしまった。札幌方面へ向かう数十台の自動車は数珠つなぎのまま動けなくなった。左前方の闇を透かしてみると田圃のあぜ道がなくなっていた。新雪をかぶった約200メートル、迂回すれば国道へ戻れそうだった。

雪道と言うことで前輪駆動車の私の自動車が発導することになりなんとか掻き分けながら国道に出ることが出来た。私の自動車は発売されて間が無い第一世代のホンダ・シビックCVCCだった。最近の電動クランチと違ってワイヤ方式だったためワイヤを通した管に雪が入って凍り着きクランチは利かなくなりました。雪道走りぬけたSandレーバーのまま時速30キロ程のゆっくりしたスピードで札幌まで帰って来た。

私の車に導かれた自動車はそれぞれ挨拶を送っては私を追い越して行った。札幌到着は深夜の2時過ぎになった。帰路はラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を協演したピアノの演奏を聴きに来たお弟子

弘中氏の演奏を聴きに来たお弟子さんが同乗して4人が乗っていた。滝川を出る時、ヴェントゥーラと「札幌へ帰ったらラーメンを食べに行こう」と約束していた。「腹が減った、もう我慢が出来ない」と騒ぎ出したのはヴェントゥーラだった。今日のようにコンピニがまだ発達していない時代の深夜、どうしようも無かった。

その時、弘中氏のお弟子さんが「どうぞ一緒に」と差し出してくれたのは真つ黒く海苔で巻かれた北海道スタイルの丸いおにぎりだった。ヴェントゥーラに「食べますか？」と聞いたら目をそらせて何も言わないで、首を横に振っていた。皆が口にするのを見てしばらくしてしぶしぶ手に取って口に入れた。美味しかった。とたんに車内がにぎやかになった。「つづく」

キタラホールカルテット セカンドコンサートを聴いて

今話題の「キタラホールカルテット・セカンドコンサート」(2月27日)を聴いてきました。先ずキタラホールが満席なのに驚きました。昨年のファーストコンサートの評判が口コミで広がった為と思われる。

1曲目のモーツアルトは、サイトウキネンのテーマ曲として、とても有名な曲。2人のコン・マス(伊藤・三上)の掛け合いが圧巻で一瞬息を呑みました。札幌が誇る弦楽器の名手が4人揃うと見事な演奏になるのです。

2曲目のショスタコーヴィチは、これからは毎回定例化されるようです。どうせなら全曲演奏(15曲)に挑んで欲しいですね。三上さんの艶のある音色と廣狩・石川さんとの緊迫感が私たちにも伝わり思わず興奮しました。今回は最も有名な第8番ですね。

6月が今から楽しみです。3曲目のブラームスは、この曲を初めて聴く人でも直ぐにブラームスの作品と判る、とても馴染みやすく私の大好きな曲です。遠い昔、上野の東京文化会館で聴いた《巖本真理弦楽四重奏団》の演奏を思い出しながら陶醉しました。

それにしても私は第1ヴァイオリンを2人のコン・マスが交互に担当するグループを他に知りません。ホールカルテットは、北海道に留まらず是非とも全国展開して札幌の名を日本中に広めて欲しいですね。

こうなると人間は欲が出るものです。私は大平まゆみ・大森潤子・小峰航一・武田芽衣のカルテット結成を夢見ているのですが…。もし実現したらこれほど嬉しい事はありません。何しろ私たちは2組のカルテットを交互に楽しめるのですから。夢と希望が現実になって欲しいなく、と願っています。(札幌市厚別区 三紀)



右から伊藤亮太郎、三上 亮、石川 祐支、廣狩 亮 (写真提供：札幌コンサートホール)

演奏会を楽しく聴くために

八木 幸 三 (札幌くらぶ会員)

第539回 札幌定期演奏会

6月10日(金) A日程

11日(土) B日程

指揮/秋山 和慶

トランペット/

セルゲイ・ナカリヤコフ

ピアノ/小曽根 真

曲目

アーバン/「ヴェニス」の謝肉祭

の主題による変奏曲

シヨスタコーヴィチ/ピアノ協

奏曲第一番八短調 op.35

レスピーギ/ローマ三部作

交響詩「ローマの祭り」「ロー

マの噴水」「ローマの松」



秋山 和慶

アーバン/

「ヴェニス」の謝肉祭」の主題によ

る変奏曲

6月の札幌定期は、卓越した技



セルゲイ・ナカリヤコフ
©Thierry Cohen

巧とその音楽性で「トランペットのバガニーニ」とも言われているセルゲイ・ナカリヤコフが、アーバンとシヨスタコーヴィチの作品を聴かせてくれる。自らトランペット奏者であったアーバンの「ヴェニス」の謝肉祭」の主題による変奏曲は彼の代表作。ナカリヤコフが14歳で録音したデビュー盤は、この作品がタイトルになっている。

シヨスタコーヴィチ/

ピアノ協奏曲第一番八短調 op.35

シヨスタコーヴィチは2曲のピアノ協奏曲を残したが、第一番は独奏ピアノと共に独奏トランペッ



小曽根 真
©Kiyotaka Saito

トが大活躍する。今回の小曽根真とナカリヤコフの共演は大注目だ。ジャズピアノストとしても活躍する小曽根は、札幌との共演もしばしば。08年のPMFバースタイン生誕90年ガラ・コンサートでは札幌・PMFオケを背景にバースタイン/交響曲第2番を情感溢れる物憂い旋律から躍動感に満ちたアフター・ビートまで光彩陸離なピアノリズムで聴かせた。演奏途中、客席から携帯アラームのメロディーが鳴るハプニングがあったが、そのメロディーを即興で演奏に取り入れ、小曽根の真価が伺えた。特に今回は、第4楽章でナカリヤコフとどんな「セッション」になるのか期待が膨らむ。

レスピーギ/ローマ三部作
交響詩「ローマの祭り」「ローマの噴水」「ローマの松」

レスピーギ/ローマ三部作を一度に聴けるのも今回の楽しみ。レスピーギは、その時代にあつては比較的伝統的な書法で作品を書いているが、その精緻なオーケストレーションは、彼の詩的な感性と

相まってこの傑作を生み出した。ヘローマの噴水」は、噴水を描写しているというよりローマの悠久の歴史を表現しているような壮麗な響きが楽しめる。ヘローマの松」は「ジャンニコロの松」でナイチンゲールの声が録音で流れることが有名だが、前半ではクラリネット独奏が幻想的な世界を創出する。首席の三瓶佳紀の演奏が楽しい。アッピア街道の松」は、大軍の列が遠くから徐々に近づいてくるような迫力ある盛り上がりで映画「ベンハー」をついイメージしてしまう。ヘローマの祭り」は、大道芸人やイタリアの民俗舞踊が目に見えるような描写的音楽が極彩色豊に奏でられる。ベテラン秋山和慶が、この作品を巧みな技で壮大にドライブしてくれることだろう。

札幌名曲シリーズ タンゲルウッドの想い出

6月25日(土)

指揮/高関 健 (正指揮者)

ヴァイオリン/渡辺 玲子

曲目

コーブランド/3つのラテン・アメリカのスケッチ
バースタイン/
セレナード「キャンディード」
序曲
シンフォニック・ダンス「ウエスト・サイド・ストーリー」
より
この名曲シリーズは、アメリカ音楽がたっぷり聴ける。



高関 健
©Masahide Sato

コーブランド/

3つのラテン・アメリカのスケッチ

コーブランド「3つのラテン・アメリカン・スケッチ」は、ベネズエラのポピュラー音楽の旋律が使われている「エストリベリヨ」、メキシコ民謡のメランコリーな雰囲気を楽しめる「メキシコの風景」、そしてメキシコ中南部の州名が題名にある「ハリスコの踊り」の3曲からなっている。ラテンと言えばエキゾチックな民俗打楽器が活躍するが、この演奏でもインディアン・ドラムなどめずらしい楽器が登場することだろう。

バースタイン/
セレナード「キャンディード」序曲

先述したPMFガラ・コンサートでもアン・アキコ・マイヤースの独奏バイオリンが覇気のある弓使いでバースタインの「セレナード」を演奏したが、今回は渡辺玲子が、プラトンの「饗宴」から構想されたという「愛の賛美」をどう聴かせてくれるだろうか。



渡辺 玲子
©Yuji Hori

シンフォニック・ダンス「ウエスト・サイド・ストーリー」より

多数の打楽器の活躍も見逃せない。吹奏楽でもよく演奏され、「題名のない音楽会」のテーマ曲としても馴染みの「キャンディード」序曲は、バースタインが50年代(70年代に新版も書かれている)に書いたミュージカル音楽の傑作。そして彼の不滅の名作「ウエスト・サイド・ストーリー」の音楽がちりばめられた「シンフォニック・ダンス」は、まさにシンフォニックジャズの極みかも知れない。

タンゲルウッドでバースタインの教えを受けた高関健が、当時の想い出話も含め、バースタインの偉業を伝えてくれることだろう。

ホクレン・クラシック・スペシャル東京公演を聴いて

栄 浪 章 文 (札幌くらぶ会員)

久しぶりに、道外で札幌を聴いた。当日のプログラムを見て懐かしく思い出したが、大昔(?)に大阪で聴いたのが、第1回と第2回だったとは思わなかった。当時、大阪勤務だった私は、懐かしさから聴きに行つたのだが、エルガーの交響曲第一番を聴いて仰天した。札幌が完璧とも言える演奏を披露したからだ。高い技術とアンサンブルそしてサウンド。周りの友人に大いに自慢したものだ。

翌年のCDにもなったシベリウスの2番は、決定版にふさわしい演奏だった。ある音楽誌に「日本のオケが成し得る最上の演奏」とあった。今聴いても、日本のオケの演奏とは思えない、ヨーロッパの音がする。

さて、今回の東京公演である。私は、あまり聴かない曲だが、もつと演奏昨年4月に仙台から東京に転勤してきて東京のオケを聴いて1年になるが、東京のオケは何かが足りないと感じている。音を並べて音楽を作る「技術」には優れているのだが、あまり美味しくないのだ。「上手い」オケが「美味しい」とは限らない。

今回の東京公演は、札幌は間違いなく美味しいオケなのだ。再確認させてくれた。当日は冷たい雨だったが、客席はほぼ満員。まずは武満。さすがに武満をやらせたら日本一だけのことはある。初めて聴く曲だったが、不覚にも泣けた。サウンドが違うのである。武満の空気がホールに充滿するのだ。なんと緻密なアンサンブルだろう。なんという厳しい音楽だろう。まさしく「本場」の演奏である。

2曲目は、ショスタコービッチのチェロ協奏曲第2番。地味で暗い曲だが、巨匠ベレニ氏の音色が実に曲に合っている。ほとんど弾きっぱなしであの緊張感の持続は、ただごとではない。オケとの相性も素晴らしい。ぞくぞくする演奏だ。第1番の陰に隠れて

あまり聴かない曲だが、もつと演奏されていい。ホルンとシロフォンの好演が光った。まるで、2曲目で演奏会が終了のような盛大なカーテンコールも頷ける。

そしてメインプログラムのショスタコービッチの交響曲第5番だ。

1楽章の最初の和音から音の「厚み」が違う。ただならぬ意気込みを感じているのは、低弦である。

2楽章では、きらめく木管が快調だ。サントリホールでの「鳴り方」を会得している響きだ。

3楽章は、いつもなら、「はやく終わって4楽章にならないかな」と思っ



2011.3.1サントリホールにて (写真提供: 浦野俊之)

て聴いているのだが、当日の全演奏の白眉は間違いなくこの3楽章だった。これほど、弦のすべてのパートがバランスよく、感動的にアンサンブルを奏でる演奏を私は聴いたことがない。音色を含め、

東京でこれだけの弦のレベルの高いオケは無い。

4楽章は期待を裏切らない盛り上がり。強烈な金管を伴うトゥッティでも弦が掻き消されない。信じられないパワーだ。全身感動で震えまくりのフィナーレであった。満員の聴衆の熱狂ぶりからも、身びいきではなく、如何に凄い演奏であったかがわかる。

アンコールは、シベリウスのアンダーテ・フェステイボ。さすが札幌十番(おはこ)のシベリウス。至高のサウンドが鳴り響く。なんとしても尾高氏の指揮でシベリウス全集をレコーディングしてもらいたいと全国の札幌ファンは熱望しているはずだ。インバル・都響に匹敵する黄金コンビの演奏に大満足の一夜であった。

平成22年度 楽譜支援金寄贈する

平成22年度楽譜支援金50万円を第536回定期演奏会の札幌コンサートホール・キタラ大ホールでの練習見学会に先立って、楽団員が揃ったステージ上で札幌西村専務理事へ札幌くらぶ鈴木会長代行(副会長)から目録を手交された。

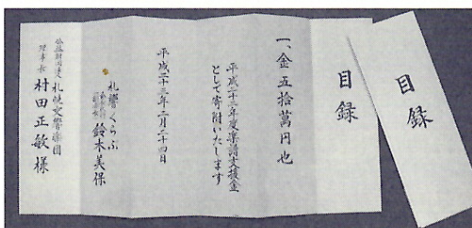
楽譜支援金は、2006(平成18)年札幌くらぶ創立10周年にあたって、「会員が札幌交響楽団を応援していると実感できる」事業として創設されました。原資は年会費のうち500円と会員による任意の寄付となる追加楽譜支援金、交流会でのサイン色紙購入などの寄付金を充てております。

平成22年度楽譜支援金で、9月



西村専務に目録を手交する鈴木副会長 (札幌提供)

作曲者	曲名	金額
ベートーヴェン	交響曲第1番	25,326
ベートーヴェン	交響曲第2番	27,153
ベートーヴェン	交響曲第3番	30,618
ベートーヴェン	交響曲第4番	32,508
ベートーヴェン	交響曲第6番	34,146
ベートーヴェン	交響曲第7番	36,036
ベートーヴェン	交響曲第8番	30,618
シューマン	交響曲第3番	56,816
サン＝サーンス	チェロ協奏曲第2番	26,250
リャドフ	魔法にかけられた湖	13,913
グリーグ	叙情組曲	26,775
シベリウス	夜の騎行と日の出	26,775
ブラームス	交響曲第1番	47,912
ベートーヴェン	プロメテウスの創造物序曲	24,434
ドヴォルザーク	交響曲第8番	61,425
合計		500,705



目録

真貝祐司札幌交響楽団定年退職記念

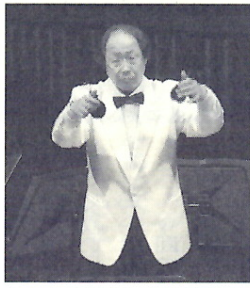
超絶技巧のカスタネット&打楽器の夕べ

札幌交響楽団メンバー&打楽器アンサンブルとともに
3月17日札幌コンサートホールKitara小ホール

東日本大震災のニュースに涙をながしながらTVに釘付けになり心が瓦礫で一杯になったような一週間が経ち、楽しみにしていた真貝さんのコンサートの日が来ました。

被災地の人たちを思うと札幌の平穏が申し訳ないような、自分だけ楽しんで良いのだろうか？と後ろめたい気持ちで出かけたところ、開場の30分前だということにもう長い行列ができていました。みんな心が乾いているのでしょうか…。

前置きが長すぎるですってこれは失礼。
さて、カスタネットって赤い女子用と青い男子用を思い浮かべるのは私だけではないでしょうか？今宵は黒く輝くカスタネットでした。



第一部は超絶技巧カスタネットと弦楽五重奏、聴いて吃驚カスタネットは凄い楽器なので、見事な手捌き（こんな言い方許されますか？）



圧倒されてポカンと見とれてしまった、腱鞘炎にならないのかしらと心配しながら。

弦楽五重奏のメンバーの素晴らしさ何と札幌のコンサートマスターと首席奏者がずらりと並んで居るんですから贅沢なこと、さすが真貝さんのお人柄なのでしょうね。

三上コンマスのソロが聴けて幸せ、コントラバスの助川さんとのパフォーマンスの面白かったこと。

第二部は華麗なる打楽器の世界。舞台上にずらりと勢揃いした打楽器達、大好きなマリンバが並んでいる、何が始まるんでしょう胸が躍るとはこのこと。

「ムドラ」ころころとこぼれ落ちるようなマリンバの音の可愛らしさ。
次は「PK@4」何とお祭り、和太鼓じゃなくてティンパニを前に日頃真面目な顔でオーケストラの打楽器の領域を行ったり来たり



写真（カス協ブログより転載）
上右：真貝祐司のカスタネットソロ
上左：カスタネットと弦楽五重奏
下：真貝祐司、大森潤子、打楽器アンサンブル「Esperanza」

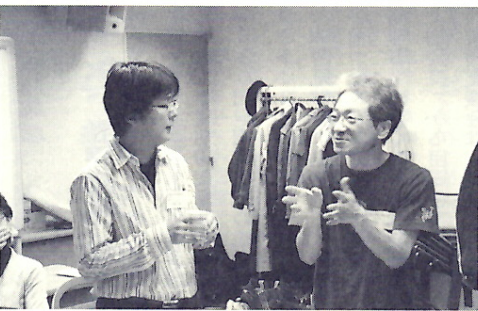
じゃなくて演奏をしていたのですね、何といっても真貝さんのお腹が一番いい音だったなあ…。

最後の「KODAMA」ティンパニのカデンツァに圧倒され興奮の極みに、姿勢を正し表情も変えず凄いい迫力と集中力に酔ってしま

ことしも「札幌くらぶ交流会」を開催しました！

第538回定期演奏会B日程の後、毎年春の恒例行事となった「平成23年度札幌くらぶ交流会」を、今年もコンサートホール2階大会議室において開催しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが上田会長をはじめ46名の会員が参加、さらに札幌交響楽団からはご多忙の中、合間を塗って西村専務



また。とっても素敵でした。この一週間震災のニュースばかり見ていて羨みきった心に元気があふれ出てきました。音楽は魂の栄養剤ですね。被災地の人達にも聴かせてあげたかった。
カさんによる連日の名演奏の感想などで盛り上がっていました。また「本日さっそく会員になりました！」と、札幌に転勤してきたばかりの新しい仲間の紹介や小峰さん、遠藤さんそれぞれのコンサート予定の発表もありました。
ところでご参加の皆様、運営スタッフによる今回のおもてなしはいかがでしたでしょうか。クリスマスパーティーでの嗜好調査？から今回はお米類を多めに、また健康のためにアルコール類は少なめに、ご用意しました（笑）。先輩諸氏が多い交流会、「まだまだカロリィが高いぞ」なんてお叱りをウケそうなので、メニューはさらに工夫をさせていただきます。
今回はゲームなどの余興はご用意しませんでした、隠しタマ」として約30年前の札幌定期演奏会のタイムテーブルをこっそり各テーブルに置いてみました。いかがでしたか？ 気がつかれて、「尾高さん若いねえ！」なんて、当時の出演者の写真に声を上げておられた先輩方、お楽しみいただけましたら幸いです。
交流会では、仙台フィル支援義援金の募金も行いました。仙台フィルの皆様が早くもどのような元気な演奏ができますよう、地域のみなさんに希望の光を届けることができますよう、心からお祈りします。
(橋詰)

大晦日恒例

朝日ジルベスターコンサート

年の瀬と言えば紅白歌合戦、レコード大賞、ゆく年くる年、などいろいろありますが、私たち札幌（クラシック？）ファンにとつては1年の締めくくりはやはり朝日ジルベスターコンサートではないでしょうか？

今回は清水和音さん、田村麻子さん、寺久保エレナさんの3人のゲストを迎えてのコンサートです。父親にチケットを買わせ（！）、寒空の下キタラ大ホールに向かいました。

会場はほぼ満員の状態でした。ジルベスターコンサートは毎年恒例だから、満席に近くなるんだなと思いつつ開演を待ちました。清水さんがいるということは、ピアノコンチェルト一曲を丸々演



清水 和音さん (©HTB)



田村 麻子さん (©HTB)



寺久保エレナさん (©HTB)



2010年の朝日ジルベスターコンサート (©HTB)

奏するのかなと思っていましたが、ピアノコンチェルトのハイライトだけの演奏でした。素晴らしい、テクニクと表現力に圧倒されました。

田村さんの歌で私が聞き入ったのは、ロミオとジュリエットより毒薬のアリアでした。自分の声が低いので、高音で歌える人はとてももうらやましいと思うのですが、きれいな声（ボキヤ貧の私にはこうしかいえません。）で、全身鳥肌が立ちました。

寺久保さんは高校生とは思えない迫力ある演奏でしたが、演奏が終わった後は高校生の女の子、という感じで、ステージ上でどう

やって退場したらよいのか戸惑っている姿がなんとも初々しかったです。忘れてはいけない我がが（？）札幌は、組曲仮面舞踏会よりワルツ、歌劇シチリア島の夕べの踊り序曲、歌劇コジ・ファン・トゥツテ序曲K588、美しく青きドナウと普段の演奏会ではなかなか聞けないメジャーな曲の演奏でした。

ジルベスターコンサートの最後の曲は、ラデツキー行進曲でしたが、指揮の現田さんが指揮台に上がって曲が始まると一斉に手拍子です。まるで会場のオーディエンス全員が事前に打ち合わせでもしていたかのように。現田さんの合図に忠実に、手拍子の強さ

を変え、札幌と現田さん、そしてオーディエンスでラデツキー行進曲を演奏している錯覚に陥りました。

コンサート終了後は、樽酒が振舞われていましたが、日本酒が飲めない私は早々に帰途につきました。

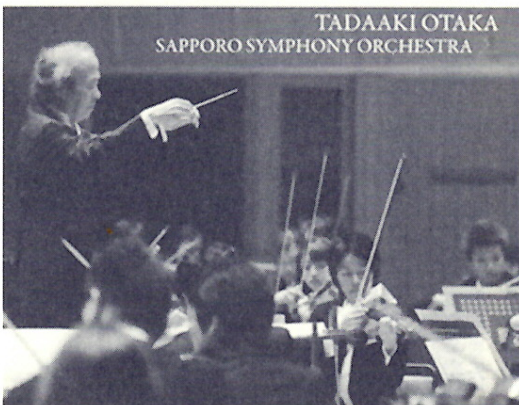
（華）

尾高／札幌 グリーグ&シベリウス
北欧音楽の新伝説2を聴いて

昨夏、北欧を旅した。夢だったシベリウスとグリーグのふる里を訪ねる旅だ。フィンランドの公園でシベリウスのモニュメントに出会い、ノルウェイでグリーグ夫妻が晩年を過ごしたという小さな家を訪ねた。コンサートが終わったばかりのグリーグのコンサートホールにも入ることができた。小さなステージの後ろには、ガラス越しに雨にけむる美しい湖が広がっていた。私の夢の一つがかなった。

その北欧シリーズ尾高&札幌のCD、待望の第2弾である。北欧の空気のように静かに静かに弦が響き、広がっていく。マエストロ尾高は常々、北欧音楽と札幌はとも合っている、北方の抒情に反応する感性を札幌は持っている、と話されている。本当だ。窓の外

lontec

Grieg & Sibelius
Works for Orchestra 2TADA AKI OTAKA
SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

があった日、終了後の札幌くらぶのデスクに一人の女性が立ち寄られた。そして「今日のチェロ、素敵でしたね。彼のCDは出ていないのですか？」と尋ねられた。あの方はこのCDを見つけてくださったのだろうか。

ほろ酔い加減で考える。もしも...もしも！あのホールでこんな演奏が聴けたなら...。あの森の中の小さなグリーグのコンサートホールで、湖をバックに背中に北欧の光を受けながら...。うーむ、これほど石川チェロに似合うステージはないのではないかな。

そう思いついたら本当に実現できないものかとまじめに考え始めた。私の新しい（勝手な！）夢がまた一つできた。

（静）

大平まゆみさんの2枚のアルバム

1枚目は母親の所有、2枚目は父親の所有

前号に引き続き、大平まゆみさん（札幌コンサートマスター）のCD2枚の感想を書くことになった。

【All my Love】

さて、大平さんの記念すべき1stアルバム「All my Love」、実はサイン入りである。しかも、サインの宛名が私ではなく私の母親あてになっているところがミソである。実は私の母親は大平さんファンなのである。「大平さんがコンマスじゃないと演奏にしまりがない」がウチの母親の口癖である。演奏会に

誘うと決まってる聞かれるのはコンマスは誰？で、大平さんではないと知るや、行かないわ」と瞬殺である。秒殺ではない。瞬殺なのだ。それくらいウチの母親は大



ファンなのである。たまたま札幌の定期演奏会で、大平さんのCDを購入したら大平さんがサインをしてくれるという機会があった。その時にCDを買い、さらに母親宛にサインをもらい、しかもドサクサに紛れずうずうしくも握手までしてもらったのである。これを私は「プチ親孝行」と勝手に思っている。まあCDの入手話はこれくらいにして、本題に入ることにしよう。

このCDの1曲目はグリーンズリーヴス変奏曲である。グリーンズリーヴスといえは小学校（中学校？）の音楽の時間、リコーターの練習でよく吹いていた（吹かされた？）あの曲である。ただ、有名なあのメロディの部分しか学校では吹かないので、有名なあのメロディの後は別のメロディがあったことをこのCDで初めて知ったのである。無知といわれればそれまでだが…。

スリーヴスといえは小学校（中学校？）の音楽の時間、リコーターの練習でよく吹いていた（吹かされた？）あの曲である。ただ、有名なあのメロディの部分しか学校では吹かないので、有名なあのメロディの後は別のメロディがあったことをこのCDで初めて知ったのである。無知といわれればそれまでだが…。

このCDにはタイスの瞑想曲や愛の挨拶、ユーモレスク、アヴェマリア：私が大好きな曲が入っている。好きな曲が有名な曲ばかりなのである意味ミ〜ハ〜。タイスの瞑想曲を聴きながら、大平さんが2010年10月15日（金）・16日（土）の第532回定期演奏会でラロ作曲・スペイン交響曲でヴァイオリンソロを弾いた時のアンコールで、うっかり寝そうになってしまったこと、アフターコンサートパーティで大平さんの素晴らしい演奏を聞いたことを思い出した。

3曲ほど唱歌が録音されていたが、3曲の中でさくらさくらが一番だと勝手に思っている。荒城の

まり関係がないので割愛する。さて本題のCD。まずジャケットの写真に驚いた。大平さんが髪を染めているのである。しかし、定期演奏会での髪の色は黒だったし、演奏会に行った父親からも大平

From My Heart
「心から」

さて、大平さんの記念すべき1stアルバム「All my Love」に続く2枚目のアルバム「From My Heart」心からである。このCD、実は我が家では父親の所有である。

All my Loveと違ってサイン入りではない。ちなみに3枚目のアルバムEternallyは私の所有である。我が家は誰かが大平さんのCDを持っているということになるのである。



さんが髪を染めていたなどと言う発言は聞いたことがない。画像処理だろうか？ それとも一時的に髪を染めて、撮影終了後にまた元に戻したのだろうか？ 今回は第28回さっぽろホワイトイルミネーションコラボレートミュージックのFrom My Heart「心から」が収録されている。冷え性+寒がり+出不精の3拍子そろっている私はほとんど冬外に出ることはなく、イルミネーションもテレビで見ただけ、という状態。この曲がどこで使用されたのかはわからない。しかし、この曲を聴くとホワイトイルミネーションの風景が目につかんできたら不思議だ。今年もホワイトイルミネーションを見に行ってみるか、という気になる…と言ってもまだ半年以上も先の話ではあるが。

このCDで私が一番好きなのは北海道マドレーである。虹と雪のバラードや北の国からのテーマが流れるのだ。虹と雪のバラードは思わず歌いだしたくなるくらいである。

他にも良い曲はたくさん収録されている。全部を通して言える事は、大平さんの暖かい心がCDを通して伝わってくる。大平さんのCDを街中に流したら、春の訪れも少しは早くなるかもしれない、と本気で思えるほどである。

All my Loveと違って、このCDはまだ入手可能で先月の定期演奏会の折、ホールで販売していたのを目撃しているが、2枚くらいしかなかったもので、欲しい方は早めに購入する事をオススメする。次はクリスマスソングを集めたアルバムが出たら良いなと勝手に希望している今日この頃である。（華）

札幌くらぶツアー企画

JOF C 第5回総会 in 金沢'11

参加旅行計画 (2泊3日) のご案内

今年は、9月17日(土) 石川県立音楽堂「楽友会」主催で、金沢市で開催することに決定しました。

札幌くらぶは、JOFC会長を選出する会員クラブとしてこの総会に、会長はじめ運営スタッフが参加し、活動報告などすることにしてありますが、会員の皆様にも一緒に参加し、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏を聴いたり、親睦、友好を深めていただくことと、札幌くらぶ独自企画による「JOFC in 金沢ツアー」を企画しましたので案内申し上げます。

まだ楽友会との打合せ中の計画で、懇親会会費やホテル宿泊料など決定していない部分のあり、旅行費用は概算となりますが、予約申込で参加者を募集します。

参加ご希望の方は、別紙参加予約申込書(ハガキ)に必要事項を記入のうえ、6月20日までにお申し込みください。

参加予約申込をいただいた方には、詳細が決定次第別途お知らせいたします。

JOFCとは?

日本プロオーケストラファンクラブ協議会(会長、上田文雄札幌くらぶ会長)の略称で、2006年(平成18年)11月、札幌くらぶの提唱で設立され、現在札幌くらぶ、仙台フィルハーモニークラブ、山響ファンクラブ、群響ファンズ、名フィル・ファンクラブ、石川県立音楽堂楽友会、広響レインズの7団体を会員とする全国横断的組織で、会員の持ち回りで毎年1回総会を開催し、各クラブの活動報告や協議会の活動計画の協議などをして、開催地のオーケストラの演奏を楽しんでいます。



ANAクラウンプラザホテル金沢 (IHGANAより)

旅行計画

9月17日(土)~19日(2泊3日)

●2011(平成23)年9月17日

(土)

新千歳空港発

ANA050便 7:30

羽田空港着 9:05

羽田空港発

ANA753便 9:50

小松空港着 10:50

連絡バス(小松空港→金沢駅西口) 約60分(12時過ぎに到着予定)

金沢駅西口から徒歩で約5分

JOFC総会 12:30~14:30

ANAクラウンプラザホテル金沢(会場が変わる場合があります)

OEK演奏会 15:00~17:00

●2011(平成23)年9月18日

(日)

石川県立音楽堂コンサートホール

第309回定期公演マイスターシリーズ

指揮者 ロルフベック(ドイツ)

演奏内容 シュレスヴィヒホルシユタイン音楽祭合唱団がヘンデルの曲を歌います。

OEK音楽監督 井上道義さんも出演予定です

金沢市内又は能登半島等観光(終日自由行動)
宿泊 ANAクラウンプラザホテル金沢

●2011(平成23)年9月19日(月)

10:00までにANAクラウンプラザホテル金沢チェックアウト
連絡バス
金沢駅西口 10:55↓小松空港 11:35
小松空港発
ANA756便 12:10↓羽田空港着 13:15
羽田空港発
ANA063便 14:00↓新千歳空港着 15:30
新千歳空港で解散

旅行費用

概算70,000円

~75,000円

- ※1. 往復航空券、ホテル宿泊料、演奏会チケット代、懇親会会費を含みます。2次会会費は参加者のご負担となります。
- 2. 札幌→新千歳空港(片道1,040円)、小松空港→金沢駅西口(片道1,100円)等小口交通費は、各自のご負担となります。
- 3. 航空券申込後の取消しにおける航空券の払戻しは、各自で行っていただきます。
- 4. 旅行費用は、金額が決定次第、7月末日までにお支払いください。



石川県立音楽堂 (Wikipediaより)

お問い合わせ

旅行に関するお問い合わせは、

札幌くらぶ事務局 局長 武藤 義典

Tel 090-4878-4390(受信専用)

90(受信専用)にお願いたします。

つながらなかつた場合は、

時間をおいておかけ直し願います。

す。

投稿①（会員の皆様からの投稿です。）

「メンデルスゾーンの評価？」 （札響くらぶ第53号） の記事を読んで

初めて投稿します。

新聞や週刊誌のように縦書きになった53号は読みやすいですね。

特に「メンデルスゾーンは過小評価？」の記事にはとても新鮮な印象を受け興味深く拝見しました。でも私は少し違った考えを持っています。

メンデルスゾーンは作曲家・指揮者・ピアニストとして音楽界に多大な貢献をしました。一例を挙げればドイツのゲヴァントハウス管弦楽団を世界有数の楽団に育てた事。ライプツィヒ音楽院を設立し作曲法やピアノを教えた事。独学で指揮法を身につけ現代に続く指揮者の基盤を確立したこと等があります。

しかし、何と言っても最大の功績は、死後80年経ち、当時一般的にはほとんど忘れ去られた存在の作曲家だったバッハを復活させる

ペレーニのチェロ、 すてきな音でした

私はチェロの音色が大好きです。2月定期のペレーニのチェロ、すてきな音でした。曲は初めて聴くものですが、いい歌を聴いているようでした。知らない曲はなじめない

し……と定期の会員になるのをためらっていましたが、定期だからこそ音楽の世界が広がる喜びを味わえるのかも、と改めて思いました。（茶）

ことに大きな役割を果たした事です。弱冠20歳の若さでバッハの最高傑作「マタイ受難曲」を復活演奏したことによってバッハの音楽は蘇り、後に「音楽の父」として崇拜されるようになったのは皆さんが周知の事実です。

また「あまり人気がない」とも書かれていますが、俗に「3大ヴァイオリン協奏曲」と言えばベートーヴェン、ブラームスとならびメンデルスゾーンが入ります。世にヴァイオリン協奏曲の名曲は数多く、特にチャイコフスキーのファンから見れば大いに異存がある事でしょう。

芸術性には様々な考えがあると思いますが一般的には「メン・コン」の愛称で知られるメンデルスゾーンの曲は、冒頭の甘美なメロディが覚え易いためもあり、恐らく「人気ナンバーワン」ではないでしょうか。ヴァイオリン協奏曲の代名詞のような存在にすらなっています。

次に確かにメンデルスゾーンは幼少のころから「モーツアルトの再来」と持てはやされた天才でした。天折したこと、姉の存在、約700曲の作品などモーツアルトとの共通点が多く有田氏は音楽的功績を「モーツアルトと同じ評価をすべき」との主張です。しかし、例えばモーツアルトの交響曲（41曲）やオペラ（12曲）の数だけを

見てもメンデルスゾーンとは大きな開きがあります。そこまで「過大評価」しなくても良いのではないのでしょうか。メンデルスゾーンは現状でも充分な人気と正当な評価を得ていると思います。

私は会報に様々な意見が掲載されるのとても良いことだと思っています。知らない方と意見交換ができるのは札響くらぶ会員の特

東京公演、 すごかった

地震の影響冷めやらぬ東京です。

地震後は3月の演奏会はほとんど中止になってしまい、計画停電の影響もあり、暗い東京になってしまいました。

ミュンヘン川崎などは天井材が崩れ落ち、半年は公演不可能だそうです。

ミュンヘンには何度か行っていましたが、見掛けの華やかさとは違って、安普請なホールで、キトラとは雲泥の差だと感じていました（ミュンヘンはヤンソンスのもっとも好きなホールらしい）。もし、公演中に地震だったら、大惨事でした。九段会館の比ではありません。

もつと騒がれてもいい！持ち主の川崎市の問題責任問題だったはずです。手抜き工事だったのではないかと疑いたくなるほどの酷い有様です。

俳を得ていると思います。

私は会報に様々な意見が掲載されるのとても良いことだと思っています。知らない方と意見交換ができるのは札響くらぶ会員の特

東京公演、すごかったです。ほんとに満員でした。

会場には、井上道義氏・高関健氏・新田ユリ氏もお見えでした。

本場に札響は上手くなりました。これで、東京のオケのように、お仕事的演奏をするようになり、ファンとの関係が疎遠にならないように願うばかりです。

本文（5ページ）「ホクレンスベシャルコンサート東京公演を聴いて」では、金管のことをあまり書けませんでした。T.Pの福田さんがきてから見違えるようになりました。一時調子の悪かった（ご病気の影響か？）松田先生も橋本先生も見事に復活されていて、目頭が熱くなりました。

2月にN響定期にいったのですが、ジョン・ミヨンソンのマラーの3番（N響にしては素晴らしい熱演）でオフステージで演奏する、ポストホルンがあまりも素晴らしい（もしかしたら録音テー

典の一つだからです。他人の意見は仮に自分の考えと多少違っても大いに参考になります。有田さん本場に有難うございました。

（手稲区 暁生）

札響くらぶ会員数

（平成23年3月31日現在）

現在の会員数	454人
※1月1日から3が31日までの入退会数	
入会	6人
退会	9人

ブか？と思ったくらい）奏者が誰なのかプログラムのクレジットになかったので誰か？と思い、カーテンコールで出てきたのを双眼鏡で見ると、札響の福田さんでした。今回の東京公演の演奏レベルを毎回維持できるのであれば、間違いなく東京でもトップクラスです。本文にも書きましたが、なんとしても、マエストロ尾高にシベリウス全集をキトラで録音してもらいたいものです。（栄浪）

投稿② (会員の皆様からの投稿です。)

私は札幌定期A日程会員です。私が勤務する職場にはA日程・B日程会員の先輩がいます。その先輩が地方への出張と重なったので、先輩のB日程のカードを借りて1月の定期演奏会を2日続けて聴く機会を得ました。

定期演奏会 A日程とB日程の違い

私には少し退屈しました。ところが2日目は余裕を持って楽しく聴けました。気のせいかもしれませんが、ピアノ独奏の河村尚子さんも伸び伸び

び弾いていたように思われ、演奏後も満足された様子でした。出張から戻った先輩にお礼の報告をすると「1日目の方が全体に緊張感があつて良い場合もあるし、2日目の方が指揮者・独奏者・オーケストラの呼吸が合つて気持ち良い演奏になる場合もあるんだ。今回は後者の方だったんじゃないか。それと君の耳が慣れてきた所為(せい)もあるかもしれないよ」と言われました。私は今まで同じ演奏会を2日続けて聴いたことがなかったの、とても貴重な体験でした。

ブラ ちょうど定期会員の切り替え時期だったので、今までSS席(42,000円)だったのを新年度はC席(22,000円×2)のA日程・B日程会員に切り替えました。年間2,000円高くなりますが、A日程は3階席、B日程はP席と場所も分けて聴いてみることにします。

だ長いだけの印象し

4月の定期「スターバト・マーテル」は、今まで聴いた事がない曲なので2回聴けるのが楽しみです。A、B日程会員の方は全体でどれくらいしやるのか知りませんが、「W会員」とでも名付けて、今後情報交換できたら良いですね。(北広島市 K・M)

スタッフの活動報告 (平成23年1月～3月)

●第2回札幌くらぶコンサート実行委員会
1月17日(月) 18:30～20:30
エルプラザ4階男女企画研究室
担当/西川副委員長他6名
会員向けチケット販売、号外・チラシ作成について協議、中学生・留学生招待の経過報告を行った。

●会報「札幌くらぶ」第53号発行
1月30日(日)
担当/木村由華
会員・スタッフ12名参加が取材、執筆に参加。8ページ800部を発行する。

●会報「札幌くらぶ」第53号発送作業
2月9日(水) 14:30～17:30
札幌コンサートホール1階第1会議室
担当/武藤事務局長他6名参加
会員、札幌、寄贈合せて710部
会員宛に練習見学会申込ハガキ、会員と寄贈宛に札幌50周年記念ヨーロッパコンサートツアーのチラシを折り込んで発送する。

●第8回札幌くらぶ運営会議
2月9日(水) 18:10～20:10

●第3回札幌くらぶコンサート実行委員会
2月14日(月) 18:30～20:30
エルプラザ4階男女企画研究室
担当/西川副委員長他6名
会員チケットの販売対策、中学生・留学生の招待状況、大口販売・協賛関係の状況について報告、協議する。

●会員出演演奏会のお知らせ
2月19日(土)
担当/武藤事務局長
「ベルリナー・ペーレン第5回演奏会」パッハへのオマージュ(3月14日)を会員MLでお知らせする。

●22年度額外支援金贈呈式
2月24日(木) 10:40～10:45
札幌コンサートホール・キタラ大ホール
担当/鈴木副会長

●第536回札幌定期演奏会練習見学会
2月24日(木) 10:40～13:00
札幌コンサートホール・キタラ大ホール
担当/武藤事務局長
会員・スタッフ30名が参加して定期演奏会の練習2コマを見学する。

●号外(コンサートニュースNo.1)発送作業
2月26日(土) 9:00～11:00
エルプラザ2Fフリースペース
担当/村上事務局次長他8名
会報号外(コンサートニュースNo.1)の原稿作成、印刷、封入、発送作業を行う。

●第4回札幌くらぶコンサート実行委員会
3月10日(木) 18:30～20:30
エルプラザ2階消費者サロン2番
担当/西川副委員長他7名
チラシの字句、デザインについて協議、次回に再提出を依頼することとする。

●第9回札幌くらぶ運営会議
3月14日(月) 18:30～20:30
担当/武藤事務局長、10名参加
総会交流会の開催方法、会費無料村上次長の転勤決定による議案作成担当者の変更、総会案内の発送議案、決算書の作成期日、23年度活動計画、会報54号の原稿の追加変更について協議する。

●札幌くらぶコンサート助成金申請
3月21日(月)
担当/武藤事務局長
札幌くらぶコンサートの運営資金として、さぼりとほっと基金、ブルーアース基金の助成金申請を行う。

●札幌楽団員出演演奏会のお知らせ
3月21日(月)
担当/武藤事務局長
「シユーマン 円熟のとき(3月25日)」「東日本大震災チャリティコンサート(4月14日、15日)」を会員MLでお知らせする。

●第5回札幌くらぶコンサート実行委員会
3月30日(月) 18:30～20:30
エルプラザ
担当/西川副委員長他8名
チラシの文字、デザインについて再協議する。

練習見学会開催前、楽員が揃ったステージで、鈴木副会長が会長代行として西村専務理事に22年度額外支援金を目録で贈呈する。道新が取材、3月2日の夕刊に掲載される。

投稿③ (会員の皆様からの投稿です)

とつても楽しい音楽会でした。

2月に札幌を定年退職された「真貝祐司・退職記念コンサート」です。3月17日、キタラ小ホールは超満員の盛況。文字どおり立錫の余地もありません。立見席もあつたの？と思うほどでした。

2月定期のロビー・コンサートでも披露されたカスタネットの超絶技巧と弦楽合奏、小太鼓・ティンパニの独奏、ボディーパーカッション、打楽器アンサンブル、要するに「何でもあり」の賑やかなコンサートで、普段気付かない打楽器の魅力が存分に味わえました。

当然のことながら札幌の打楽器奏者は全員参加。弦楽器陣はコン・マスの三上亮を筆頭に、大森潤子・小峰航一・石川祐支・助川龍と豪華なメンバー(全て首席奏者)が揃つたのは真貝さんの人柄でしょうか。22歳で

超絶技巧のカスタネット & 打楽器の夕べを聴いて

真貝さんは日本カスタネット協会会長として、これからもコンサート活動や後進の指導等、忙しい日々が待っているようですが、6月の定期にはエキストラとして札幌へ戻ってきます。それに何と4月から私たちの「札幌くらぶ」に入会してくださいそうです。私たちの仲間になって頂けるのです。

「皆さん楽しい音楽会の趣味は共通なんだなあ。」と勝手に想像し、思わず1人で微笑みました。帰りの地下鉄は勿論ルンルン気分でしたよ。(素奈智音)

意見・感想をお寄せ下さい

交流会や札幌演奏会の感想、クラシック音楽に関する事など特に内容は問いません。この会報に関するご意見・ご要望など会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。投稿は、ハガキ、封書又はEメールで、住所・氏名・会員番号

(以上必須事項)・電話番号等連絡先を書き、「札幌くらぶ事務局」宛お送りください。匿名希望の方は、「匿名希望」又は「ペンネーム」をお書きください。(あて先は1ページ目のタイトル欄にあります) また、「第9回札幌くらぶコンサート」札幌と遊ぼう」についてのご意見もお寄せください。

投稿の期限はありませんが、6月30日までに投稿してください。方の中から、抽選でプレゼントを差し上げます。なお、当選の連絡は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

平成23年度の年会費の納入をお願いします

平成23年度の年会費の納入のお願いを5月中旬にお送りいたします。

口座振替の方は5月20日にご指定の口座から振り替えいたしますので、残高のご確認をお願いいたします。

郵便振替をご利用の方は、会費納入専用の郵便振替用紙を同封いたしますので5月末日までにお近くの郵便局からお振り込みください。よろしくお願いいたします。

年会費は、札幌くらぶの運営経費と楽譜支援金にあてられております。また、年会費納入の際に、任意での追加楽譜支援金も併せて募集しておりますので、ご協力を

よろしくお願いいたします。年会費の納入は、金融機関の預金口座からの自動振替が便利です。のでぜひご利用ください。手続きご希望の方は、電話、ファックス(011-563-6460)、メールで、会員番号、お名前を申し出てお申込みください。口座振替依頼書(記入の仕方添付)をお送りいたします。24年度から適用されます。

上記のほかに、定期演奏会、名曲シリーズの会場の「札幌くらぶサービスカウンター」で、現金でのお支払いも受け付けておりますので、お気軽にお申し付けください。(担当・事務局長 武藤義典)

◆今年になって「投稿」が増えてきたのをスタッフ一同とても嬉しく思っています。会員のための会報ですので、皆さまのご意見をどしどしお寄せ下さい。誹謗・中傷でなければ何でも結構です。これからはなるべく多くの方のお考え、感想を掲載してまいります。(里)

編集後記

◆慣れない会計の仕事、大変でした(泣)。嬉しかったのは楽譜支援金が一人、また一人と寄せられてくること。10万円の大口支援もありました。札幌を応援したいと思ってい

らっしゃる方がたくさんいるんだ、と心強く思いました。(静)

◆今号は、うれしいことに会員からの投稿が多かったので、ページ数が12ページとなりました。この調子で会員からどんどん投稿が多くなると会報の充実が一層深まる。

また、今号は、久しぶりに定期演奏会のプログラムに、会員拡大を目指して折り込むことになり、3,600部印刷した。(武)

札幌くらぶML登録アドレス募集

札幌くらぶ会員専用メーリングリスト(ML)へのメールアドレスの登録を募集しています。

MLは、札幌くらぶの「おしゃべりROOM」などの電子掲示板のようなWeb形式と違い、メールアドレスを登録しないと利用できないようになっている会員専用の電子メールですので、迷惑メールなどが送信されることがない、安全なEメールの利用方法です。安心してご利用ください。

札幌くらぶでは、このMLを会員同士の演奏会のお知らせなどの情報交換、交流の場として多くの会員の方々に活発に利用いただきたく願っています。

MLに、新たにメールアドレスを登録される会員を募集いたしますので、次のメールアドレスに「MLに登録希望」と題名に入力し、通信欄に会員番号、氏名を入力して送信してください。

info@sakkyoclub.net

受信後、MLに登録し、利用方法を返信いたします。多くの会員の方々が登録されるようお願い申し上げます。